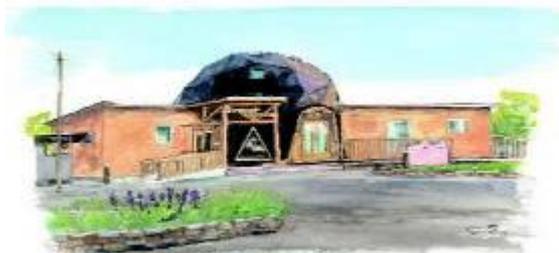


クローバーつうしん

CLOVER TIMES



2022年1月1日 第55号

クローバー子供図書館 / 発行

〒963-8851 郡山市開成6-346-1

TEL/FAX 024-932-2118

<http://www.k-washinkai.or.jp/clover/clover.html>



「孫と一緒に」

針生ヶ丘病院

施設課課長 高橋英広

新年あけましておめでとうございます。
昨年は、新型コロナウイルス第五波で不安な日々を過ごしていましたが、第六波がこないことを願って依頼された原稿を書いておきます。

私とクローバー子供図書館との出会いは、小学校低学年の時に姉に連れられて行った記憶があります。当時は49号線沿いにあり、門を入ると竹林の少し薄暗い道を通り抜けたところがありました。木造の大きなドアを開けて入館すると、司書の方々に優しく迎えて頂き、静かに(姉は定期的に通っていたが私は数回で終わった)本を読んでいたことを思い出します。

その後半世紀が過ぎ、私にも孫ができました。娘より寝る前に読み聞かせする本がないか問われ、孫の絵本を探しに再びクローバー子供図書館へ足を運ぶきっかけとなりました。孫が喜びそうな絵本を探しに訪れると温かく迎えて頂き、幼い頃通った記憶がよみがえりクローバー子供図書館の優しさをあらためて感じました。最近雑誌も読まなくなり本が遠い存在となっております。また、孫の月齢にあった本がよく分からない私に、

沢山のアドバイスを教えて頂いて毎回素敵な絵本を借りることが出来ております。最初は動物、乗り物など絵や写真で名前を知ることから初めていき、最近では仕掛け絵本などがお気に入りです。私が選んだ絵本は興味を示さず、司書の方が推薦してくださった絵本には興奮することもしばしばあり、選ぶことの難しさを感じております。これからは、少しずつ長い文章の本も取り入れて、一緒に読んで、コミュニケーションをとってほしいと思います。孫と絵本を読んでいると、何度も同じ本を読んで欲しいとせがまれて疲れてしまうのですが、言葉を少しずつ覚えて成長していく姿を見ていると絵本の素晴らしさを改めて感じる日々です。これから、自分で本を読めるようになり読書好きになるまで、クローバー子供図書館に通い続けて行きたいと思っております。

孫には転んですり傷を作りひやひやさせられ、二歳児のイヤイヤ期に手こずってはいますが、日々新たな成長を見ることができていることに感謝しています。老体ながらも一月に増える小さな命を楽しみにこれからも孫たちと一緒に、本を通して色んなことを学び夢をかなえていきたいです。

お孫さんのお気に入りのえほん



「すいぞ!!
きょうりゅう」
鎌田 歩/作・絵
(教育画劇)

